



最初の実り

使徒 16:11~15



ユーラシア手話翻訳会議



アクロポリス（パルテノン神殿）

通訳チーム



11わたしたちはトロアスから船出してサモトラケ島に直航し、翌日ネアポリスの港に着き、12そこから、マケドニア州第一区の都市で、ローマの植民都市であるフィリピに行った。そして、この町に数日間滞在した。13安息日に町の門を出て、祈りの場所があると思われる川岸に行った。そして、わたしたちもそこに座って、集まっていた婦人たちに話をした。14ティアティラ市出身の紫布を商う人で、神をあがめるリディアという婦人も話を聞いていたが、主が彼女の心を開かれたので、彼女はパウロの話を注意深く聞いた。15そして、彼女も家族の者も洗礼を受けたが、そのとき、「私が主を信じる者だと思いでしたら、どうぞ、私の家に来てお泊まりください」と言ってわたしたちを招待し、無理に承知させた。

フィリピ

Philippi Neopolis

トロアス

テサロニケ

Thessalonica

Troas

Antioch

Iconium

Lystra

Derbe

Antioch

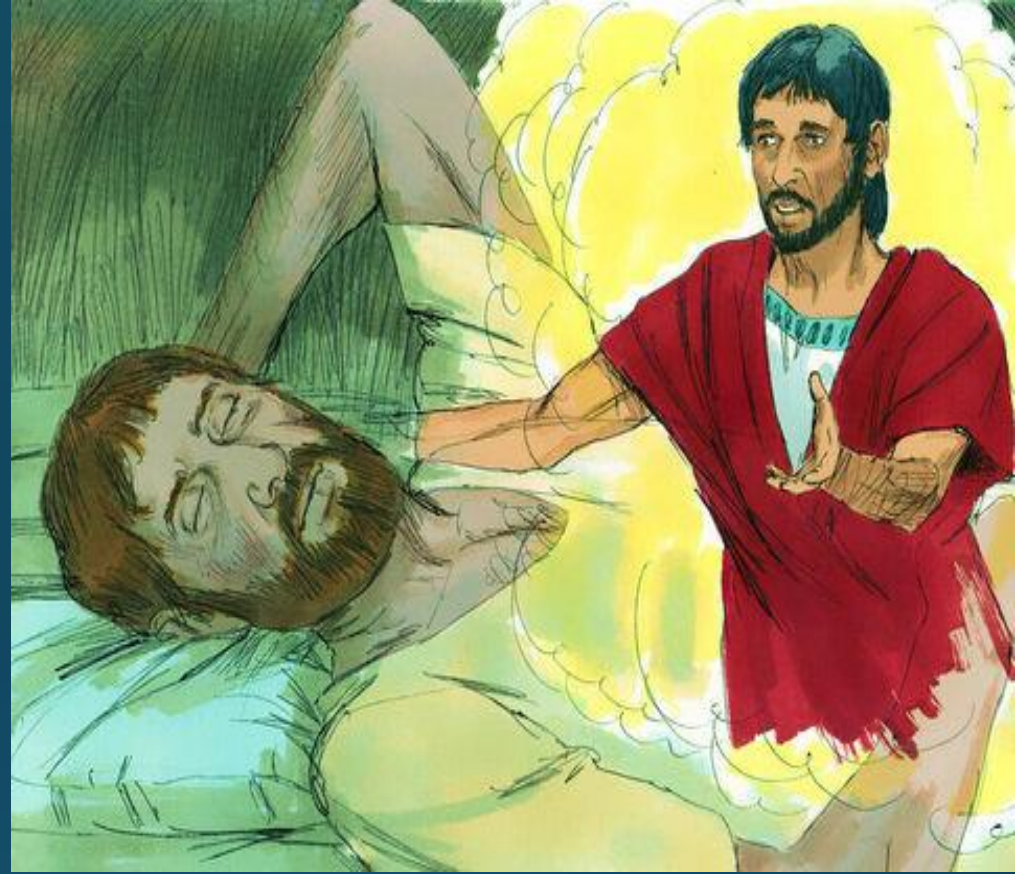
Mediterranean Sea

Jerusalem

第2回伝道旅行



(使徒16:6~10)
パウロたちは2度も
聖霊によってアジア
州への道を閉ざされ
ました。



その後、神の御心を祈り求めていたパウロは、
“マケドニアに渡って来て、私たちを助けてくだ
さい”と、懇願する一つの幻を見て、神の導き
だと確信します。

舟に乗ってマケドニアのネアポリスに着いたパウロとシラスは、歩いてフィリピの町へ。ここはマケドニア地方第一のにぎやかな町。ここは会堂もありませんでしたが、町の外の川岸に祈り場がありました。

パウロたちが安息日にそこで福音を語っていると、主が紫布商人リディアの心を開いてくださったので、彼女とその家族は、主を信じ、バプテスマを受けました。



主が心を開かれる

主が彼女の心を開かれたので、彼女はパウロの話に注意深く聞いた。(14節)

リディアの家はフィリピ伝道の拠点となっていく。

「牢を出た二人は、リディアの家に行き、兄弟たちに会い、彼らを励ましてから出発した。」(40節)

すぐさま実行

- ペトロ
- マタイ
- 看守とその家族

- フィリピは、パウロが伝道した最初のヨーロッパの都市。
- 福音が、アジア大陸からヨーロッパ大陸に伝わった。

パウロは、自分がマケドニアに神が招いておられることを知っており、それに忠実に応答しました。パウロは後に、ここにいる信者たちへ「フィリピの信徒への手紙」を書き送っています。パウロが植えた種は、豊かな実を結ばせました。

私たちも自分の考えていた通りに事が運ばないような時には、一度、立ち止まって、改めて主の導きに心を集中してみましよう。きっと私たちの考えをはるかに超えた、すばらしい別の道が主によって備えられていることでしょう。 God Bless you.